大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみ

令和２年度 第18号
令和２年６月９日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜授業改善に向けて＞

体育科の授業研究会を行う（指導主事訪問）

昨日月曜日、南教育事務所から村田留美子指導主事を招き、３年と５年で体育科の授業研究を行いました。１０月下旬には、体育科を専門教科とする先生方（中学校教員も）が出席しての授業研究会があることから、その前哨戦とも言えるものです。この日はどちらの学年も、表現運動（ダンス）に取り組みました。３年生は、リズムに乗り、全身を使って楽しさを表現しました。一方、５年生は、あの難易度の高いフォークダンス「コロブチカ」に挑戦しました。どちらの学年の授業も笑顔いっぱいで、体を動かすことの楽しさや喜びにあふれていました。

※ 男女関係なく一緒に活動できていてすばらしい。

学校案内看板を衣替え

道の駅前から八乙女公園方面に向かう県道沿いに、本校に曲がる案内看板がありますが、この度衣替えをしました。表示の色が薄くなり、見えにくくなってきたからです。今度は、ぐっと目に入りやすい色合いにしてみました。これで、お客さまも迷わずに到着できそうです。

サツマイモ、復活！

先々週の金曜日、苗を植えたあとの土・日曜日の天気が良すぎてか、かなり弱りかけていたサツマイモですが、復活の兆しです。先週１週間の水遣りが功を奏しました。

消毒液を寄贈いただく

すでに広報等でご存じの皆様も多いことと思います。この度、鈴木酒造様（秀よし）から市へ消毒液の寄贈があり、本校は８本（４Ｌ）頂戴しました。ありがとうございます。今後、お客様の来校も予定されておりますので、とても助かっています。

中仙中生徒会執行部の３人来校

先週金曜日、生徒会の３名が訪問し、６年生に「秋桜（コスモス）プロジェクト」の説明をしてくださいました。これは、「地域に笑顔と秋桜の花を」をスローガンに、中仙地区を明るくするための小中連携地域貢献活動として、中仙中学校を中心に進めている活動です。中学生から頂戴した秋桜の種を後日配付しますので、ぜひおうちの近くに蒔いてほしいと思います。

その８

本校の歴史をたどる

このコーナーは、本校のこれまでの半世紀をたどり、次の時代にに向けてエールを送るものです。

合併前の長野小学校には悲しい歴史があります。それは昭和４３年におきた火災です。
「その８」からは、「広報なかせん」をもとに、本校に関わる内容について掲載していきます。

昭和４３年１２月３１日付の広報の１ページめ

長野小一瞬のうちに灰

必死の消火作業で　中心部への延焼を防ぐ

去る１２月２０日未明、長野小学校火災が発生、全焼しました。午前２時１階用務室から出火した火災はわずか１時間足らずのうちに普通教室１７、体育館、音楽室、理科室など木造２階建て校舎５棟、２，６１８平方mを全焼しました。

町や隣接市町村などからかけつけた消防車７台、小型ポンプ車４２台、消防団員４０２人の消火活動にも関わらず、校舎とすべての書類が灰になってしまいました。

附近は、中仙保育園ほか住家が密集しており、類焼の危機にさらされましたが幸い風がなかったことや水の便がよく、消防団員の必死の消火作業によって延焼をくい止めることができました。

町教育委員会では、２０日午前９時から緊急委員会を開き、長野小学校火災について対策を検討し、２９日から予定していた冬休みを３日間繰り上げて２６日からとし、時差授業を行い、とりあえず元長野中学校跡の公民館を補強して冬休み明けの３学期から１２教室を確保して全校児童一緒に授業する方針を決め、その準備に取りかかっています。

一方町では、急施（きゅうし）議会を招集し、公民館を校舎として使用するための補強費や教室、教具、教材の整備費として、とりあえず９６０万円を補正し、小学校復興再建への検討が行われています。

火災は、一瞬にして多くのものを焼き尽くします。「いつも心に　火の用心」という言葉があるように、誰もが常日頃から火の扱いについては十分に配慮をしなければなりません。

その９では、学校再建に向けた動きについて取り上げる予定です。